

令和5年度 第2回 拡大理事会議事録

日時：令和5年7月25日（火）19：00～21：00

場所：Web 会議

出席：(理事) 磯野、高村、三科、小林(司)、有泉、井村、
渡邊、鮎川、菊池、古屋、鈴木、大西、平賀
(部長)小林、原、秋山 (副部長) 菅沼

書記：五味

会員管理情報

慶事0件 弔事 件 施設数159施設
会員数977名(施設920名 自宅57名)

磯野会長より挨拶

お疲れ様です。県士会としては大きな動きはありません。

県は地域リハの推進に対して、ロードマップを作成していて、現在は情報の更新を行っているとのこと。

その作業の担当者として小林副会長を推薦させていただきました。

リハビリテーション専門職団体協議会で高校生一日体験を県からの委託で行っていますが、士会の担当者として鈴木局長と丸茂先生にお願いをしましたのでご承知おきください。

コロナウイルスの関係もあり、丸茂先生に作成していただいた動画を ZOOM で流して視聴してもらうようにしていますが、今年度は実際に病院での体験をしてもらうようにと県から依頼があり、その方向で動いています。

来月、参議院議員の田中昌史氏が来県されます。8月24日(木)にお話をさせていただくように予定いれさせていただきます。可能な範囲で参加をお願いします。

I. 審議事項(全6題)

1. 過去の学会の抄録集の取り扱いおよび、士会学術集会部の備品の報告(菊池学術大会局長)

備品について整理をしました。その中で過去の学術集会誌が見つかりました。このことについて取り扱いを相談したいと思います。

質問・意見

有泉：備品については士会事務所で余力がありますので士会事務所で保管することはできます。

磯野：全て揃っていますか。

菊池：一部の学会誌が数冊ずつという状態です。

磯野：データとしては残っていますか。

菊池：データであれば全て揃っています。

磯野：データの形はどのような物ですか。

菊池：PDFの状態でありまして。国会図書館にも収蔵されています。

賛同が得られれば次学術集会時にご自由にお持ち下さいというようにしたいと思います。

結果

・備品については士会事務所で保管する

・余剰分の学術集会誌については次回学術集会時に希望者に配布することとなった

2. スポーツ理学療法部備品収納場所について(古屋社会局長)

スポーツ理学療法部の備品について、テーピング、治療用ベッド、大会記録などがあります。今後の保管場所としてトランクルームの借用を考えていますがいかがでしょうか。

質問・意見

有泉：治療用ベッドは1台ですか。

古屋：2台ありました。ただし、畳める仕様になっていますので1帖分で足りるかと思えます。

有泉：先ほどの学術集会の備品については士会事務所で保管が可能ですが、かなり大掛かりな備品なので難しいように思えます。

北山：今後も備品が増えてくるかと思うので、各部で管理するのか士会全体で保管場所を借りて保管するという方法もありかと思えます。

小林(司)：士会として保管できる場所があった方がいいのではないかと考えます。今後の検討課題として残しておくべきかと思えます。

平賀：もしレンタルルームを借りるとなると予算的にいかがでしょうか。

有泉：現状は可能です。

平賀：備品管理は局・部で番号等を付けて管理することとして検討してもいいかと思えます。

北山：現状どのくらい備品があるか調査して検討した方がいいかと思えます。

有泉：各局では備品はありますか。

大西：広報局ではグッズなど備品がある状態です。現状病院で保管をしています。

高村：ゆくゆくは手狭になることを考えると他の場所を借りるか士会事務所自体を備品も保管できるくらいの規模にするの検討していただきたいです。

有泉：事務局の管理のしやすさや士会事務所等についても検討していきたいと思えます。

磯野：備品の管理場所について逼迫していますか。

古屋：可能な限り早期という話にはなっています。

結果

・可及的速やかに保管方法、場所について検討していく

3. 福祉厚生局より(鈴木福祉厚生局長、原地域連携部長)

・PT 士会の地域包括ケアシステムに関わる活動とりまとめ企画案について

県士会として活動していることについて地域連携部で情報を集約して、メール配信等を行い各士会員に活動内容を周知してもらうようにしたいと考えています。理想としては各士会員が地域包括システム等について質

問があった際に的確に回答できることを上げさせていただきます。

今後の方針についてはフォーマットを各局長から各部長へ、返信は逆順で行います。各委員会については小林(司)副会長から各委員長へ送信して返信は逆順でお願いしたいと思います。士会長、副会長については事務管理局にお願いをしたいと思います。

質問・意見

有泉：基本的に回答するのは局長・部長など組織図に記載がある方々ということでしょうか。

原：他にも様々活動があるかと思いますが、担当された方が記入するというようお願いしたいと思います。

小林(司)：士会の立場でということですか。

原：そのように理解しています。

磯野：県士会での活動ということとなると範囲が狭くなってしまいます。理学療法士の会員としては違う立場で活動している部分もありますが。

原：範囲をどのように考えるべきでしょうか。

磯野：私自身も病院として関わっている部分については、士会の活動ではないのでこのことについてはどう考えるか検討が必要かと思います。

鈴木：理想としては理学療法士として関わっている部分を伝えることだと思います。もし可能であれば士会員にもメール配信して活動内容をお聞きすることも考えていますが、今回は局長・部長単位で行うということでしょうか。

結果

- ・今回得た意見を地域連携部で共有して今後のことについて検討していく
- ・医療、介護報酬に関する基礎的研修会開催について(鈴木福祉厚生局長)

医療保険部と介護保険部が合同で開催している研修会について詳細が決定しました。

日時：令和5年10月25日(水) 19時～20時30分

会場：山梨県青少年センター 2階 第1研修室

テーマ：基礎から学ぼう！医療・介護保険制度

講師：医療保険 水上 卓(赤坂台病院)

介護保険 遠藤 勇志(山梨ライフケア・ホーム)

推奨参加者は経験年数1～3年の士会員です。

会場の都合で参加者は先着50名ということにしたいと考えています。カリキュラムコードは「認定・専門理学療法士更新点数1.5」もしくは「登録理学療法士更新点数1.5(区分1-8 医療保健サービスと理学療法)」を考えています。

質問・意見

特になし

4.感染症対策に関する県内施設の実態調査(小林(司)副会長)

感染症対策委員会の研修に向けてアンケートを実施

したいと考えています。目的として感染症対策の現状と課題の把握をして今後の委員会の取組に反映するということとしています。アンケート期間は9月上旬から10月末を予定して回答はGoogleフォームから施設代表者1名が回答するというように考えています。

質問・意見

特になし

5.認知症対策委員会研修会について(小林(司)副会長)
今年度の研修会開催について決定しました。

日時：令和5年11月27日(月)

19時～20時30分

会場：ZOOM研修

テーマ：認知症疾患に対して理学療法の役割と効果的な介入方法(仮)

講師：奥出 聡(平川病院)

質問・意見

磯野：講師の先生をお呼びすることになったきっかけはありますか。

小林(司)：平賀先生の紹介がきっかけです。

平賀：認知症の方の理学療法を積極的に行っている東京の病院で紹介させていただきました。

6.承認症例検討会の開催承認審議(鮎川生涯学習局長)

今年になって開催申請が何件かいただいている状態です。その中に他県の施設で症例検討会を行うという事例があったため原則的に山梨県士会ではなく他県の県士会に承認を得るものと考えていますが、いかがでしょうか。

意見・質問

鈴木：今回のケースはどのような経緯があったのでしょうか。

鮎川：学校の講師の方で県外に非常勤として勤めていてそちらで発表というような状況だと思います。

平賀：私の所属先の方で事前に相談を受けていました。

鮎川：申請についてはアプリからは直接行えないような仕組みになっているようです。登録理学療法士が1人もいないという職場でこのような会を開くこと自体が難しいようですが今後受講できるような環境づくりもできたらと思いますがいかがでしょうか。

北山：ルール上は認めざるを得ないです。関東ブロックや協会の会議に議題としてだした方がいいかと思っています。

鮎川：以前検討会を開くにあたっての意見交換会においても議題として挙がっていましたが明確な答えは出ないままでした。

北山：現状このようなケースがあったので、ルール作りをしっかりとすべきかと思っています。

鮎川：協会の方にも打診していますが、回答は得られていません。

北山：このことについて今後どのような対応となるか経

過を追っていただきたいです。

磯野：今後このことについて認めるのであればシステムから変えなければならないです。現状は認める方向性かと思いますが。

有泉：山梨県士会の申請で他県で行った場合は他県士会からポイントが入るといことですか

鮎川：現状そのようなこととなります。

結果

- ・今後のルール等をしっかり決めて対応できるように働きかけていく

II. 報告事項

1. 各委員会等の報告

- ・災害対策支援委員会より(小林(司)副会長)

令和5年度山梨県地震防災訓練第1回関係者会議に出席してきましたので報告します。

日時：令和5年7月13日(木)

13時30分～15時30分

会場：昭和町総合体育館

内容：令和5年度山梨県地震防災訓練について

参加：磯野 弘司(OT：JRAT 事務局)

大野 了資(市川三郷病院)

2. 各局より報告

- ・士会学術集会部より(菊池学術大会局長)

進捗状況について報告します。

第26回山梨県理学療法士会学術集会(令和6年2月18日(日))の一般口述演題のエントリーが2件、抄録査読希望者4名という状況です。今後各施設へ働きかけていく予定です。

- ・スポーツ理学療法部より(古屋社会局長)

国際テニス大会へ参加をさせていただきましたので報告します。

大会名：2023 ITF Juniors in Japan U18 week1

日時：令和5年7月10日(月)～16日(日)

会場：北杜市 クラブヴェルデ

参加：14名(2名/日)

対応選手：36名(1日平均5.1人)

- ・広報部より(大西広報局長)

7月16日の理学療法の日新聞掲載について報告します。7月16日に朝日新聞、読売新聞へ掲載をして、7月17日に山梨日日新聞、毎日新聞に掲載をしました。

意見・質問

磯野：前日にメール等でお知らせが届くようにすると注目度が上がると思います。

結果

メールでの周知について検討していく

III. 事務管理局より(有泉事務局長)

①全国失語症の会のプログラム掲載チラシについて

事前に資料配布させていただきました。広告費用は20,000円で協賛金10,000円、後援依頼も承諾しています。

②田中昌史氏の集会企画について

8月24日(木)19時より士会事務所、ZOOMを使用して集会を考えています。経過報告のみではなく今後の理学療法士のことについて話しをしたいとのことです。可能であれば若い世代や子育て世代をテーマにした内容にしたいとのことでした。当日は講演いただいた後に士会事務所との意見交換を行うような内容でお話をしたいと思います。

③自民党県連への要望事項

このことにつきまして案をまとめました。特別支援学校や学校保健分野への派遣については継続した内容となっていますが予算上の関係で介入できる時間が減ってきている状態とのことです。その他地域包括支援センターへのセラピスト配置についてや山梨 JRAT への助成や予算配分について、重度心身障がい者の医療費窓口無料制度復活について、職場における腰痛予防の取組強化について要望を出す予定です。

④DX化に向けて

リコージャパンが運営しているリコードライブと契約をしました。契約必要数のID、アップロード容量で開始しました。

IV. 次回の理事会日程について

理事会

令和5年8月22日(火) 19:00～

場所 Web会議

連絡 8月18日(金)までに審議事項および資料を事務管理局(有泉理事)へ提出する。
議題がない場合でも事務管理局へ連絡する。